

平成28年度六戸町社会福祉協議会事業計画

基本理念

「みんなで支え合い すべての人が 安心して暮らせる町づくり」

基本方針

少子高齢化、住民の働き方の多様化や核家族化の進行等により、支え合いの基礎となっていた家族や地域社会の機能が変容し、これまでであった家庭機能の低下や地域社会のつながりの希薄化が進んでいます。

このような中、高齢者や障がい者等の虐待、社会的孤立や自殺、ニートやひきこもりなど、解決が難しい福祉課題や生活課題が継続して発生しているほか、様々なかたちで生活に困窮している方が増加し、支援が必要とされています。

社会福祉協議会がこれまで培ってきたコミュニティワークや個別支援の実践を基に、地域住民が安心した生活を送るために住民と一体となった地域福祉の推進を図り、地域の課題解決に向けた事業展開と支援のネットワークづくりに取り組んでいく必要があります。

社会福祉協議会の使命として、利用者を尊重し福祉サービスを旨とし様々な事情により生活が困難な状態であっても、安心して地域で生活できる連帯感の醸成や制度の谷間にある住民への支援を総合的にコーディネートすることにより、地域で安心した生活が継続できることを目指しています。

そのためにも、福祉サービスだけでなく地域にある資源を活用し、一人の方を地域全体で支えていけるような仕組みづくりに努めていきます。

本会の基本理念実現に向け、地域福祉を総合的に進めるために次の項目を重点事業として取り組んでいきます。

- 1 新規受託事業の生活支援体制整備事業、福祉安心電話事業を通じて、高齢者のみの世帯等の見守り活動の推進及び介護予防による支援体制のための福祉コミュニティづくりを推進していきます。
- 2 前年度から開始された生活困窮者自立支援制度や判断能力の低下している方々のための日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付制度等を通じて、様々な生活・介護課題を抱えている家庭へ関係機関・団体と協力して支援活動を推進します。
- 3 法人全体の安定的経営を目指し、主たる収入である介護サービス事業収入の増加のための施策を検討します。
- 4 平成28年度から5ヶ年間の第二次活動指針の進捗状況を確認していきます。